

アジア太平洋地域の持続可能な開発に向けた、都市ステークホルダー最大の協議会への参加

会員資格

06.

+ 正会員

人口が10万人以上のアジア太平洋地域の都市

+ 準会員

アジア太平洋地域以外の地方自治体、国家レベル組織、開発組織、研究・研修・学術機関、そして非政府組織

+ 企業会員

民間企業

応募方法

07.

応募用紙の請求

シティネット事務局により応募用紙と必要書類リストを送付

応募に必要な書類の提出

シティネットの実行委員によるメンバーシップの承認

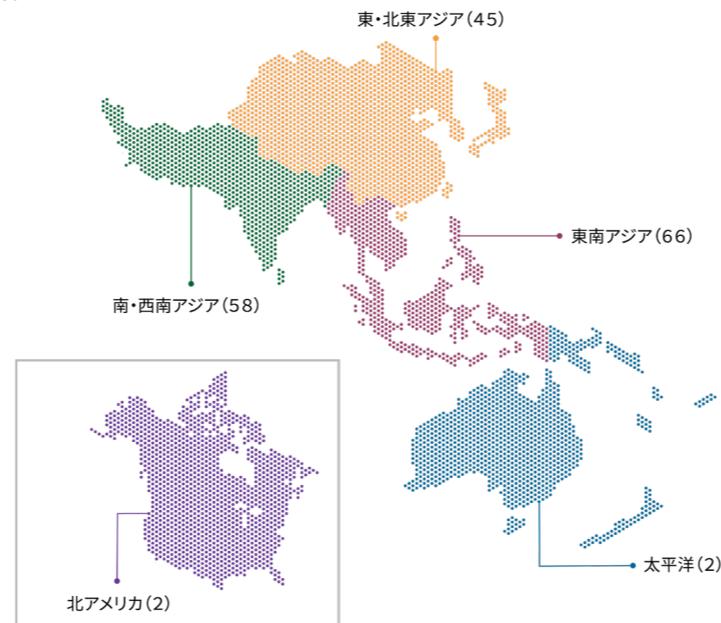
会費

08.

シティネットの実行委員の承認を得た上で、翌年から会費が発生します。年会費はその都市の人口と都市の一人当たりのGDPをもとに計算されます。詳細はシティネット事務局までお問い合わせください。

シティネットのネットワーク

09.



シティネットの会員

10.

173 の会員
110 の正会員
58 の準会員
5 の企業会員

T. +82-2-723-0648

E. info@citynet-ap.org

W. www.citynet-ap.org

シティネット事務局

大韓民国 ソウル特別市 鍾路区 鍾路38番地 ソウルグローバルセンター-10階

CITYNET
THE REGIONAL NETWORK OF LOCAL AUTHORITIES
FOR THE MANAGEMENT OF HUMAN SETTLEMENTS

citynet-ap.org

30年以上にわたる知識共有と革
新的な解決策を都市課題のために

私たちは持続可能な開発を推進します

都市のニーズに応えるため、地域の状況に合わせた効果的な解決策を提供します

シティネットとは

01.

シティネットは1987年に国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)、国連開発計画(UNDP)、そして国際連合人間居住計画(UN-HABITAT)の支援のもとに設立され、173の都市、NGO、民間企業、そして研究機関が参加しています。(2020年現在)

- 私たちは関係者をつなぎ知識を交換し、より持続可能で回復力のある都市を設立するため専念します。
- 人材育成、都市間協力、具体的なプロジェクトを通じてシティネット会員が気候変動、防災、増大するインフラの需要や持続可能な開発目標(SDGs)に対応できるよう支援します。



シティネット事務局
大韓民国、ソウル市



シティネット横浜プロジェクトオフィス
日本、横浜市



シティネット・プラスアーツクリエイティブセンター
日本、神戸市



クアラルンプール地域研修センター
マレーシア、クアラルンプール

シティネットとの連携

02.

- + 共有
都市問題の解決策と優れた事例の共有
- 都市課題テーマ別でのワークショップの開催
- 都市型SDGsナレッジプラットフォームにおける事例共有
- + 開発
持続可能な都市開発に向けたプロジェクト

分科会(クラスター)

03.

シティネット会員は4つの分科会(クラスター)もしくはテーマ別プログラムのうち、優先順位を付けた最大2つのプログラムを選び参加します。シティネットの活動は、会員が運営する分科会(クラスター)を中心に企画・実行されます。



気候変動
議長(リード)都市: ジャカルタ市
副議長(コアー・リード): HELP-O(スリランカ)



防災
議長(リード)都市: 横浜市
副議長(コアー・リード): マカティ市



インフラ
議長(リード)都市: ソウル 特別市
副議長(コアー・リード): クアラルンプール 市



持続可能な開発目標(SDGs)
議長(リード)都市: バリサル市
副議長(コアー・リード): AIILSG(インド)
CUS(バングラデッシュ)
HUDCO(インド)
LCP(フィリピン)

4つの分科会(クラスター)は、シティネットの活動を支える主要な柱として、会員のニーズを明確化し、会員が各種プログラム活動により主体的に取り組むことを促進します。

国別支部

04.

シティネット国別支部は、会員の小規模プロジェクトを促進するため事務局の仕事を分散し、地域毎の取組に優先順位をつけ、シティネットのネットワークに新たな地方自治体を勧誘するため存在しています。

シティネット国別支部一覧:



都市型SDGsナレッジプラットフォーム

05.

シティネットはソウル特別市とUNESCAPと共同で、自治体レベルの様々なSDGs活動の実施や政策に関する情報をだれでもアクセスできる都市型SDGsナレッジプラットフォームデータベース開発を進めています。

